

UMIN登録番号	演題名	演題番号	セッション名	セッションテーマ	発表日	セッション時間	会場名
10011	化学放射線療法＋免疫療法を行った3期切除不能非小細胞肺癌における、末梢血リンパ細胞のTCRレパトア解析	S5-4	シンポジウム5	肺癌におけるICI最前線	12月2日（金）	13:05～14:20	第2会場
10012	当科において経験した免疫チェックポイント阻害薬に伴う皮膚irAE 110例の臨床的検討	WS2-2	ワークショップ2	ir-AEに対する対応	12月1日（木）	11:05～11:50	第2会場
10013	放射線治療による腫瘍細胞内cGAS-STING経路を介した食道扁平上皮癌微小環境リモデリング機構の解明	WS1-1	ワークショップ1	複合免疫療法の工夫	12月1日（木）	8:45～9:30	第2会場
10014	当科における転移性腎細胞癌に対するIO-TKIレジメンの初期使用成績	O6-4	一般演題6	ICIの使用経験(2)	12月1日（木）	15:35～16:15	第2会場
10015	樹状細胞におけるprotein tyrosine phosphatase non-receptor type 3(PTPN3)抑制により生じる抗腫瘍免疫への効果とその機序の考察	S1-5	シンポジウム1	ICI治療に対するTranslational Research最前線	12月1日（木）	9:55～11:55	第1会場
10016	悪性胸膜中皮腫切除例における末梢血好中球/リンパ球比、予後栄養指数、ならびに腫瘍微小環境内PD-L1発現の解析	O8-2	一般演題8	腫瘍微小環境(1)	12月2日（金）	10:45～11:25	第2会場
10017	当院における免疫チェックポイント阻害薬に起因するirAE肝障害の対策と重症例について	O7-1	一般演題7	ICIの使用経験(3)	12月1日（木）	16:20～16:52	第2会場
10018	腫瘍mRNA遺伝子導入iPS細胞由来樹状細胞は腫瘍ネオアンチゲンを認識する	WS4-1	ワークショップ4	免疫細胞療法	12月1日（木）	17:05～17:50	第1会場
10019	StageIII大腸癌における癌線維芽細胞MMP14の生物学意義の検討	O8-3	一般演題8	腫瘍微小環境(1)	12月2日（金）	10:45～11:25	第2会場
10020	ネオアンチゲンワクチン療法における特異的免疫反応増幅への樹状細胞由来エクソソームの関与	O4-4	一般演題4	免疫療法のための基礎研究(2)	12月1日（木）	12:50～13:38	第2会場
10021	大腸癌切除例におけるIL-6と予後および腫瘍浸潤免疫細胞の関係	O11-1	一般演題11	予後予測マーカー(1)	12月2日（金）	13:30～14:10	第1会場
10022	p53を抗原とする樹状細胞ワクチンによる前感作はp53武装化ウイルス免疫療法の治療効果を増強する	WS4-2	ワークショップ4	免疫細胞療法	12月1日（木）	17:05～17:50	第1会場
10023	ニボルマブ投与中に続発性副腎クレーゼをきたした大腸癌患者の1例	O3-1	一般演題3	ICIの使用経験(1)	12月1日（木）	10:28～11:00	第2会場
10024	ニボルマブによる三次化学療法およびトラスツマブ・デルクステカンによる四次化学療法が奏効したHER2陽性進行胃癌の1例	O7-4	一般演題7	ICIの使用経験(3)	12月1日（木）	16:20～16:52	第2会場
10025	MSI-H婦人科再発癌に対し、Pembrolizumabを投与した4症例	O9-5	一般演題9	ICIの使用経験(4)	12月2日（金）	11:15～11:55	第1会場
10027	放射線治療における腫瘍内CD8+ T細胞の動態	WS1-2	ワークショップ1	複合免疫療法の工夫	12月1日（木）	8:45～9:30	第2会場
10028	ユビキチンプロテアソーム系を応用した新規iPS細胞由来樹状細胞ワクチン療法の基礎研究	O2-1	一般演題2	免疫療法のための基礎研究(1)	12月1日（木）	9:35～10:23	第2会場
10029	複合免疫療法と手術による集学的治療が奏功したStageIV胃癌の1例	O5-1	一般演題5	化学療法・集学的治療	12月1日（木）	14:50～15:30	第2会場
10030	シングルセルRNAseq解析を用いた腫瘍免疫に影響を及ぼす大腸癌関連線維芽細胞亜集団の同定と機能解析	S4-3	シンポジウム4	ゲノム解析とICI治療	12月2日（金）	9:00～10:40	第2会場
10031	大腸癌における腫瘍浸潤リンパ球と腸内細菌叢について	WS3-1	ワークショップ3	腸内細菌とがん免疫	12月1日（木）	16:55～17:55	第2会場
10032	HER2陽性胃癌におけるcGAS-STING経路の役割	O1-1	一般演題1	集学的治療のための基礎研究	12月1日（木）	8:45～9:49	第1会場
10033	Stage I-III大腸癌における術前Dダイマー値の予後予測マーカーとしての意義	O8-1	一般演題8	腫瘍微小環境(1)	12月2日（金）	10:45～11:25	第2会場
10034	切除不能再発・進行食道癌に対する抗PD-1抗体薬の効果予測因子ーリアルワールドデータの検討ー	O13-3	一般演題13	予後予測マーカー(3)	12月2日（金）	14:25～14:49	第2会場
10035	腫瘍内高乳酸環境はB細胞のヒストンH3アセチル化を亢進し制御性B細胞を誘導する	O2-3	一般演題2	免疫療法のための基礎研究(1)	12月1日（木）	9:35～10:23	第2会場
10036	C4orf47は肺癌において低酸素環境での休眠に関与する	O1-2	一般演題1	集学的治療のための基礎研究	12月1日（木）	8:45～9:49	第1会場
10037	当院の切除不能進行・再発胃癌に対する1次治療におけるNivolumabの使用経験	O7-3	一般演題7	ICIの使用経験(3)	12月1日（木）	16:20～16:52	第2会場
10038	マウス歯周病モデルによる腸内細菌叢を介した移植免疫への影響の解明（短鎖脂肪酸濃度変化の観点から）	WS3-2	ワークショップ3	腸内細菌とがん免疫	12月1日（木）	16:55～17:55	第2会場
10039	癌間質におけるTGF-βと腫瘍浸潤免疫細胞でのTIM 3 の発現との関連について	O8-4	一般演題8	腫瘍微小環境(1)	12月2日（金）	10:45～11:25	第2会場
10040	免疫抑制環境を誘導するゲムシタピン耐性肺癌に対する新たな複合免疫療法の開発	S2-3	シンポジウム2	消化器癌におけるICI最前線	12月1日（木）	12:45～13:45	第1会場
10041	大腸癌マウスモデルにおける血管内皮グリコカリックス異常による癌微小環境免疫異常	O8-5	一般演題8	腫瘍微小環境(1)	12月2日（金）	10:45～11:25	第2会場
10042	骨肉腫に対するゲムシタピンとラパマイシン併用療法ーアポトーシス誘導とその増強効果ー	O5-2	一般演題5	化学療法・集学的治療	12月1日（木）	14:50～15:30	第2会場
10043	大腸癌における癌促進的にはたらく炎症関連miR-4257の役割	O1-7	一般演題1	集学的治療のための基礎研究	12月1日（木）	8:45～9:49	第1会場
10044	ARID1A欠損胃癌に対するAKT阻害薬の有効性	O1-3	一般演題1	集学的治療のための基礎研究	12月1日（木）	8:45～9:49	第1会場
10045	病理学的完全奏効を得た筋層浸潤性膀胱癌の腫瘍微小免疫環境の検討	O10-2	一般演題10	腫瘍微小環境(2)	12月2日（金）	11:30～12:10	第2会場
10046	FGF受容体ファミリーの変異が子宮頸癌放射線治療予後に及ぼす影響	O11-2	一般演題11	予後予測マーカー(1)	12月2日（金）	13:30～14:10	第1会場
10047	ラットを用いた歯周炎と腸内細菌叢の移植免疫に対する影響の研究（Treg多寡の観点から）	WS3-3	ワークショップ3	腸内細菌とがん免疫	12月1日（木）	16:55～17:55	第2会場
10048	大腸癌における腫瘍血管新生の新しい評価方法と予後との関連	O11-3	一般演題11	予後予測マーカー(1)	12月2日（金）	13:30～14:10	第1会場
10049	肺癌の癌関連線維芽細胞（CAF）サブタイプに対する腫瘍融解ウイルス療法の感受性の検討	O10-1	一般演題10	腫瘍微小環境(2)	12月2日（金）	11:30～12:10	第2会場

UMIN登録番号	演題名	演題番号	セッション名	セッションテーマ	発表日	セッション時間	会場名
10050	食道癌転移リンパ節に浸潤するtissue-resident memory T cellによる予後効果と原発巣との比較	011-4	一般演題11	予後予測マーカー(1)	12月2日(金)	13:30~14:10	第1会場
10051	当院における肛門管扁平上皮癌に対する化学放射線療法の治療成績について	05-4	一般演題5	化学療法・集学的治療	12月1日(木)	14:50~15:30	第2会場
10052	Sharedネオアンチゲンと特異的T細胞受容体のスクリーニング	WS4-3	ワークショップ4	免疫細胞療法	12月1日(木)	17:05~17:50	第1会場
10053	消化器癌・肺癌の包括的な治療開発のためのFAM115Cの生物学的意義の網羅的解析	01-4	一般演題1	集学的治療のための基礎研究	12月1日(木)	8:45~9:49	第1会場
10054	胃癌に対するConversion therapy施行症例における予後因子解析	011-5	一般演題11	予後予測マーカー(1)	12月2日(金)	13:30~14:10	第1会場
10056	再発大腸癌に対するlate lineでの示唆に富むレゴラフェニブ使用経験	05-5	一般演題5	化学療法・集学的治療	12月1日(木)	14:50~15:30	第2会場
10057	切除不能進行再発胃癌に対するニボルマブの使用経験	09-2	一般演題9	ICIの使用経験(4)	12月2日(金)	11:15~11:55	第1会場
10059	子宮体癌に対するペムブロリズマブ・レンバチニブ併用療法における有効性および安全性の解析	09-4	一般演題9	ICIの使用経験(4)	12月2日(金)	11:15~11:55	第1会場
10060	間質酵素Lysyl Oxidase Like 1, 3, 4の胃癌における臨床病理学的意義	010-3	一般演題10	腫瘍微小環境(2)	12月2日(金)	11:30~12:10	第2会場
10061	キチンオリゴ糖服用による抗癌免疫作用の臨床研究と作用機序の考察	WS1-3	ワークショップ1	複合免疫療法の工夫	12月1日(木)	8:45~9:30	第2会場
10062	頭頸部癌におけるPTPN3の生物学的意義の解析	013-1	一般演題13	予後予測マーカー(3)	12月2日(金)	14:25~14:49	第2会場
10063	AIイメージサイトメトリーを用いた直腸癌術前化学放射線療法の腫瘍CD8+T細胞の新たな評価法の開発	S3-5	シンポジウム3	ICI治療のNext Step	12月1日(木)	14:50~17:00	第1会場
10064	nivolumab・ipilimumab併用療法後、切除可能となったcT3b腎癌・下大静脈腫瘍栓の3例	06-5	一般演題6	ICIの使用経験(2)	12月1日(木)	15:35~16:15	第2会場
10065	Hepatic steatosisの胃癌ICI治療へ与える影響—悪液質との関係から—	S3-6	シンポジウム3	ICI治療のNext Step	12月1日(木)	14:50~17:00	第1会場
10066	大腸癌における血清Proteinase-3の検討	012-1	一般演題12	予後予測マーカー(2)	12月2日(金)	14:15~14:55	第1会場
10067	免疫チェックポイント阻害剤の治療限界を克服しうる新規がんペプチドワクチンによる腫瘍免疫原性の向上	S3-7	シンポジウム3	ICI治療のNext Step	12月1日(木)	14:50~17:00	第1会場
10068	免疫チェックポイント阻害薬の治療効果に対する食物摂取頻度調査による食物繊維量を含む栄養成分毎の影響評価	04-3	一般演題4	免疫療法のための基礎研究(2)	12月1日(木)	12:50~13:38	第2会場
10069	Eph/ephrinシステムを介したPD-L1の発現調節機構	02-2	一般演題2	免疫療法のための基礎研究(1)	12月1日(木)	9:35~10:23	第2会場
10070	食道癌の術後補助療法または切除不能進行食道癌に対する1次治療としての免疫チェックポイント阻害薬の使用経験	06-1	一般演題6	ICIの使用経験(2)	12月1日(木)	15:35~16:15	第2会場
10071	治療抵抗性となった子宮体がん骨盤内再発の症例に骨盤内臓器全摘術とペムブロリズマブ投与により長期生存が得られている一例	09-3	一般演題9	ICIの使用経験(4)	12月2日(金)	11:15~11:55	第1会場
10072	可溶性NKG2DLはT細胞におけるNKG2D/NKG2DLシグナルを阻害する	02-4	一般演題2	免疫療法のための基礎研究(1)	12月1日(木)	9:35~10:23	第2会場
10073	腸内細菌による食道がん術後再発予測の試み	012-2	一般演題12	予後予測マーカー(2)	12月2日(金)	14:15~14:55	第1会場
10074	大腸癌における腫瘍細胞内cGAS-STING経路を標的とした新規治療戦略	S1-6	シンポジウム1	ICI治療に対するTranslational Research最前線	12月1日(木)	9:55~11:55	第1会場
10075	SIRT5の食道扁平上皮癌における臨床病理学的検討	012-3	一般演題12	予後予測マーカー(2)	12月2日(金)	14:15~14:55	第1会場
10076	血中循環腫瘍DNAゲノムスクリーニングに基づく腫瘍横断的ICI併用療法の開発	S4-4	シンポジウム4	ゲノム解析とICI治療	12月2日(金)	9:00~10:40	第2会場
10077	全身性多発転移胃癌に対し、姑息的放射線治療とニボルマブ治療を行い良好な治療効果が得られた症例	09-1	一般演題9	ICIの使用経験(4)	12月2日(金)	11:15~11:55	第1会場
10078	胃所属リンパ節の腫瘍近傍リンパ節内の免疫抑制機構及び転移分布から見た免疫外科治療戦略	010-5	一般演題10	腫瘍微小環境(2)	12月2日(金)	11:30~12:10	第2会場
10079	がんの放射線治療後に起こる免疫反応を利用する改良型・樹状細胞ワクチン療法の開発	02-5	一般演題2	免疫療法のための基礎研究(1)	12月1日(木)	9:35~10:23	第2会場
10080	放射線治療と免疫チェックポイント阻害薬の併用における安全性及び効果	05-3	一般演題5	化学療法・集学的治療	12月1日(木)	14:50~15:30	第2会場
10081	大腸がんにおける腸内細菌叢と腫瘍浸潤免疫細胞の関連	01-8	一般演題1	集学的治療のための基礎研究	12月1日(木)	8:45~9:49	第1会場
10082	治癒切除不能な進行・再発胃癌に対する1次治療としてのNivolumab+SOX療法5例の使用経験	07-2	一般演題7	ICIの使用経験(3)	12月1日(木)	16:20~16:52	第2会場
10083	In vitro腹膜播種転移モデルを用いたマルチオミクス解析による大腸癌転移機構の解明と制御法の開発	01-5	一般演題1	集学的治療のための基礎研究	12月1日(木)	8:45~9:49	第1会場
10085	EMP1低発現乳癌は高悪性度と生存の短縮と関連する	012-4	一般演題12	予後予測マーカー(2)	12月2日(金)	14:15~14:55	第1会場
10086	固形がん患者における抗PD-1抗体の治療有効例と免疫学的有害事象発症例に多い腸内細菌の同定	04-5	一般演題4	免疫療法のための基礎研究(2)	12月1日(木)	12:50~13:38	第2会場
10087	切除不能進行再発食道癌に対するニボルマブ治療開始後の好中球リンパ球比は効果予測に有用である	012-5	一般演題12	予後予測マーカー(2)	12月2日(金)	14:15~14:55	第1会場
10088	進行肺がんに対する複合がん免疫療法の現状と昭和大学での取り組み	S5-5	シンポジウム5	肺癌におけるICI最前線	12月2日(金)	13:05~14:20	第2会場
10089	腫瘍融解アデノウイルス製剤の免疫賦活薬としての有用性とICIとの併用治療の可能性	04-2	一般演題4	免疫療法のための基礎研究(2)	12月1日(木)	12:50~13:38	第2会場
10090	大腸癌の腫瘍免疫微小環境におけるCD4陽性T細胞に与える肥満の影響	010-4	一般演題10	腫瘍微小環境(2)	12月2日(金)	11:30~12:10	第2会場

UMIN 登録番号	演題名	演題番号	セッション名	セッションテーマ	発表日	セッション時間	会場名
10091	切除不能進行・再発食道癌に対するPembrolizumab + CDDP/5-FU療法の12例の検討	06-2	一般演題6	ICIの使用経験(2)	12月1日（木）	15:35～16:15	第2会場
10092	Nivolumab+Ipilimumab療法中に同時多発的に多臓器irAE(irAE E マーチ)を来した自験例と文献的考察	WS2-1	ワークショップ2	ir-AEに対する対応	12月1日（木）	11:05～11:50	第2会場
10093	100症例以上の進行・再発食道癌に対する免疫チェックポイント阻害薬を中心とした薬物療法の治療成績と解析	06-3	一般演題6	ICIの使用経験(2)	12月1日（木）	15:35～16:15	第2会場
10094	肺腺癌Stage4Bに対してCBDCA/PEM/Pembrolizumab投与にて、併発していた横行結腸癌に完全奏効を得られた1例	03-3	一般演題3	ICIの使用経験(1)	12月1日（木）	10:28～11:00	第2会場
10095	S状結腸癌術後再発に対し、既存の化学療法に抵抗性を生じるも、pembrolizumabが適応となり長期生存を得た1例	03-2	一般演題3	ICIの使用経験(1)	12月1日（木）	10:28～11:00	第2会場
10096	腫瘍内CD8陽性細胞浸潤、Foxp3陽性細胞浸潤、PD-L1発現は食道扁平上皮癌の予後を予測する	013-2	一般演題13	予後予測マーカー(3)	12月2日（金）	14:25～14:49	第2会場
10097	イノシンはT細胞疲弊および制御性T細胞の抑制を介して抗腫瘍効果を発揮する	02-6	一般演題2	免疫療法のための基礎研究(1)	12月1日（木）	9:35～10:23	第2会場
10098	口腔扁平上皮癌における細菌叢と腫瘍内免疫プロファイル	WS3-4	ワークショップ3	腸内細菌とがん免疫	12月1日（木）	16:55～17:55	第2会場
10099	当院における免疫支援チームの取り組み	WS2-3	ワークショップ2	ir-AEに対する対応	12月1日（木）	11:05～11:50	第2会場
10101	悪性リンパ腫における短鎖脂肪酸によるT細胞の抗腫瘍効果の増強	04-1	一般演題4	免疫療法のための基礎研究(2)	12月1日（木）	12:50～13:38	第2会場
10102	腸内細菌代謝産物短鎖脂肪酸AはT細胞の活性化およびM1マクロファージの誘導を介して抗PD-1抗体療法の抗腫瘍効果を増強する	04-6	一般演題4	免疫療法のための基礎研究(2)	12月1日（木）	12:50～13:38	第2会場
10104	盲腸癌の傍大動脈リンパ節転移再発に対してNivolumab + Ipilimumab療法が奏功した1例	03-4	一般演題3	ICIの使用経験(1)	12月1日（木）	10:28～11:00	第2会場
50000	<i>In vivo</i> エレクトロポレーションを用いたマウス腫瘍モデルの構築	01-6	一般演題1	集学的治療のための基礎研究	12月1日（木）	8:45～9:49	第1会場